

科目ナンバリング		U-LAS23 20002 SO48							
授業科目名 <英訳>	中国語II B [文法・文化理解] C262 Intermediate Chinese B [Grammar, Cross-cultural understanding]				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 前田 尚香			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	金5		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
中国の著名な劇作家、曹禺の代表作『雷雨』を講読する。1934年発表のこの作品は、新劇作品の中でも最も上演回数の多い作品の一つで、中華民国時代の鉱山事業主の家庭に起こる悲劇を描いている。その芸術性と社会背景なども考察しながら、よく使われる口語表現を中心に中国語のレベルアップを目指す。									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・総合的なレベルアップを目指す。特に北方で実際に使用される口語表現に重点をおいて学ぶ。 ・作品を通して、当時の社会背景や風俗習慣に対する理解を深める。 									
【授業計画と内容】									
『雷雨』は比較的長編の劇本で全四幕の構成であるが、このうち第四幕を中心に講読する。									
第1回 イントロダクション(作品や作者に関する説明、第一幕の概況など)									
第2回 第二幕の解説(DVDなどで舞台の様子を見る場合もある)									
第3回 第三幕の解説と講読(第三幕の一部を読んでみる)									
第4回 第三幕の内容の確認(DVDなどで実際の舞台の様子を見て第三幕の概況を理解する)									
第5～14回 第四幕の講読 (毎回、配布テキストの2、3ページ分を読み進めてゆく。第四幕の半分程度を読み進めてゆく予定。文法や語彙に注意しながら、原文の表現と内容を毎回しっかり把握できるようにする。作者に関する説明も補足する。)									
期末試験									
第15回 フィードバック(DVDなどで第四幕の舞台上映を見て、作品について総括する。)									
なお、以上は履修者の習熟度などにより若干変更する場合がある。									
【履修要件】									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
【成績評価の方法・観点】									
学期末試験の成績(70%程度)に、平常点(30%程度)を加えて評価する。平常点は、主にテキストの日本語訳や課題についての発表で、既定の回数の発表ができなかった場合や、発表が一定レベルに達していなければ減点の対象とする。									
中国語II B [文法・文化理解] C262(2)へ続く									

中国語ⅡB [文法・文化理解] C262(2)

[教科書]

授業中にプリント等を配布。

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

履修生は毎回予習が必要。単語を注意深く調べ、自分で訳文を作ってくること。

[その他(オフィスアワー等)]

[主要授業科目(学部・学科名)]